

アスベスト飛散の可能性のある調理機器処理状況 文科省



文部科学省は、学校の給食調理場にあるアスベストを使用した調理機器が、平成 18 年 9 月 15 日時点でどのような処理状況にあるかについて調査した結果をまとめ、18 年 10 月 31 日に公表しました。

この調査は 18 年 3 月 16 日に発表したものの続報で、調査対象となったのは、国公立小・中・特殊教育諸学校、夜間定時制高等学校に設置された学校給食調理場および共同調理場で、総数は 16,913 場です。今回の調査では、アスベストを使用している機器を保有していた調理場のうちアスベストの一部が空气中に浮遊する可能性のある機器を保有していた調理場の 1729 場中、1709 場（10.1%）については、18 年 9 月 15 日までに廃棄、密封保管などの処理が完了していることが分かりました。調査結果は以下の通りです。

なお、文部科学省では未処理の機器の早期処理を都道府県教育委員会に要請するとともに、引き続き、処理状況調査を継続する方針です。

[調査結果]

(単位：パーセント)

調査内容		前回の結果 (1月31日)	今回の結果 (9月15日)
1. アスベストを使用している調理機器 (以下「機器」とする。)の保有状況	① アスベストを使用している機器を保有していた調理場数	5,431 場 (32.1)	5,431 場 (32.1)
	② ①のうちアスベストの一部が空气中に浮遊する可能性のある機器を保有していた調理場数	1,766 場 (10.4)	1,729 場 (10.2)
2. その後の処理の状況	③ ②のうち全ての機器の処理が完了した調理場数	1,354 場 (8.0)	1,709 場 (10.1)
	④ ③のうち未処理の機器を一つでも保有する調理場数	412 場(2.4)	20 場(0.12)
3. 今後の処理予定 (平成 18 年 9 月 15 日現在)	④のうち 18 年度中に処理予定		18 場(0.11)
	19 年度中に処理予定		2 場(0.01)

※表中の () は、調理場数に対する率

当社では、JIS 法に基づいた石綿調査で精度の高い分析を実施しております。分析については、ぜひ一度ご相談下さい。

資料 2006 年 10 月 31 日付 E I C ネット
文部科学省 HP

環境分析箇所 市川雅俊